



The Robot Award

審査員特別賞

自動化基礎講座および メカトロニクス技術者試験の推進

特定非営利活動法人自動化推進協会

機電一体の技術レベルを高める 実務的教育支援の取り組み



自動化基礎講座の様子

■はじめに

国際競争が激化し、技術者不足の声が上がる中で、ロボットやシステムインテグレートに関する優秀な技術者の養成と確保は、日本の製造業における大きな課題の一つです。しかしながら、教育の整備には、さまざまなコストや時間がかかります。また、実践力を高める人材教育には、知識だけでなく、現場による実務的な理解が求められますが、自社のみでこれらの教育を体系的に網羅し、拡充するには限界があります。

NPO法人自動化推進協会は、1972年の発足以来、自動化・メカトロニクス・ロボット技術とその発展に貢献すべく、約46年にわたり活動しています。本協会では、「実務者向け人材教育」という位置づけで、この趣旨に理解・賛同してくださるメーカー（企業内技術者）、大学（研究者・学者）、技術士・コンサルタントが三位一体となって、質の高い実務教育を低価格で提供しています。

■自動化基礎講座

自動化基礎講座は、東京、京都、名古屋の3会場にて毎年5月から翌年2月まで月1回（全10回）実施しております。講師は皆、最先端の技術・知識を持った実務講師・スペシャリストであり、教育支援への高い質を確保しています。1999年度～2018年度まで、約20年間継続しているロボット業界では類をみないロングセラーの講座です。これまでに、大手企業から優良中堅・中小企業の幅広い業種の方々にご利用いただいております。アンケート調査では、基礎固めや知識の掘り下げに活用でき、さまざまな事例を理解できたと毎回好評いただいております。現在では、毎回約30名程度、年間累計800名が参加しており、受講数は延べ約10,000名以上を達成しています。加えて、年々参加者数も増加の一途をたどっております。

■メカトロニクス技術者試験

メカトロニクス技術者試験は、機械や電気分野に関わる実務を中心とした能力を判定し、その技術水準やレベルを証明する試験です。試験内容は、メカニズム・アクチュエータ・コントローラ・センサなどの基礎技術、並びに搬送、供給、組立てなど自動化・ロボットの実務技術など幅広く出題されます。これまでに、IT系人材育成センターでの採用や高等専門学校単位認定などの経緯があり、約14年間継続の実績があります。2016年度より、会員をはじめ学生、技術者どなたでも受験できるように裾野を広げました。初級・中級・上級の3段階で目標を立てて受験していただけるよう取り組んでいます。また、団体受験や企業内に出向いて実施する出張試験なども承っております。2018年度より、東京会場のみから、名古屋、京都の3会場と増やし、年一回（3月）に実施する予定です。



お問い合わせ先

特定非営利活動法人自動化推進協会

住所：東京都千代田区飯田橋2-11-10 山田ラインビルIII B02

担当：技術委員会委員長 西田 麻美 Tel:03-6261-0192 E-mail: office@jidoka.net (事務局)